B5FY-8471-01-00

FMV

バーコードタッチリーダ FMV-BCR213

取扱説明書

はじめに

このたびは、弊社のバーコードタッチリーダ（FMV-BCR213）（以降、本製品）をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本紙には、本製品を安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に本紙をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2008 年 1 月

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後 5 年です。

FUJITSU

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

梱包物を確認してください

本製品をご使用になる前に、次の物が梱包されていることをお確かめください。万一、破損や足りない物がございましたらおそれ入りますが、ご購入元にご連絡ください。

□バーコードタッチリーダ
□保証書
□取扱説明書（本書）

本書の表記について

■ 警告表示について

本紙では安全上の注意点を、以下のマークとともに表示しています。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

⊘	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
❗	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
••▶	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

<table>
<tr><th>製品名称</th><th colspan="2">本文中の表記</th></tr>
<tr><td>FMV-BCR213</td><td colspan="2">本製品</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Home Premium</td><td rowspan="3">Windows Vista</td><td rowspan="6">Windows</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Home Basic</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Business</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP Professional</td><td rowspan="2">Windows XP</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP Home Edition</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® 2000 Professional</td><td>Windows</td></tr>
</table>

■ 商標および著作権について

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

⚠警告

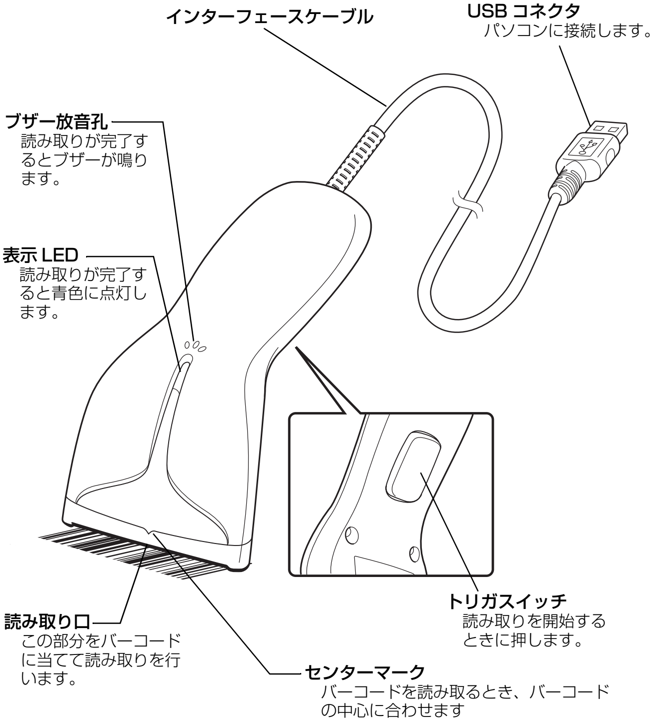
- 万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに機器本体のケーブルをプラグから抜いてください。
  その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品をプラグから抜いてください。
  その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
  そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本製品を落としたり、カバーなどを破損したときは、パソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
  そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 清掃の際、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
  故障・火災の原因となります。
- コネクタに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
  火災・感電の原因となります。
- 本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
  火災の原因となります。

⚠注意

- 本製品を直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。
  感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。

- 本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。
- 本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。
感電・火災の原因となります。
修理や点検などが必要な場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
- 本製品の開口部を布でおおったり、つつんだりしないでください。
熱がこもり、カバーが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。
- 開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因となります。
- 本製品のケーブルは、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを乗せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。
感電・火災の原因となります。
- 本製品のコネクタを抜くときはケーブルを引っ張らず、コネクタを持って抜いてください。
ケーブルを引っ張ると、芯線が露出したり断線して、火災の原因となることがあります。
- 本製品を振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 本製品で、肩をたたいたり、ケーブルを持って振り回さないでください。
けがをしたり、故障の原因となることがあります。
- ベンジン、シンナーで拭いたり、防虫剤をかけないでください。
ひび割れ、引火の原因となることがあります。
- 本製品の読み取り窓から光源をのぞき込んだり、人の目に読み取り窓を向けたりしないでください。
この光が目に入ると目の痛みなど、視力障害などを起こすことがあります。
- 本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となります。
- 本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。
- 濡れた手でインターフェースケーブルの抜き差しをしないでください。
感電の原因となることがあります。
- インターフェースケーブルが痛んだら（芯線の露出、断線など)、「富士通ハードウェア修理相談センター」、または購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると感電・火災の原因となります。

1 各部の名称と働き


インターフェースケーブル
USB コネクタ
パソコンに接続します。
ブザー放音孔
読み取りが完了するとブザーが鳴ります。
表示 LED
読み取りが完了すると青色に点灯します。
読み取り口
この部分をバーコードに当てて読み取りを行います。
トリガスイッチ
読み取りを開始するときに押します。
センターマーク
バーコードを読み取るとき、バーコードの中心に合わせます

2 接続

動作環境

■ 対応パソコン

本製品は FMV シリーズでお使いになれます。
対象機種については、富士通製品情報ページ内の「システム構成図」（http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/syskou/）をご覧ください。

■ 対応 OS

- Windows Vista
- Windows XP
- Windows 2000

接続する

1 パソコン本体を起動します。

2 本製品の USB コネクタを、パソコン本体の USB コネクタに差し込みます。

Windows の標準ドライバで動作します。

重要

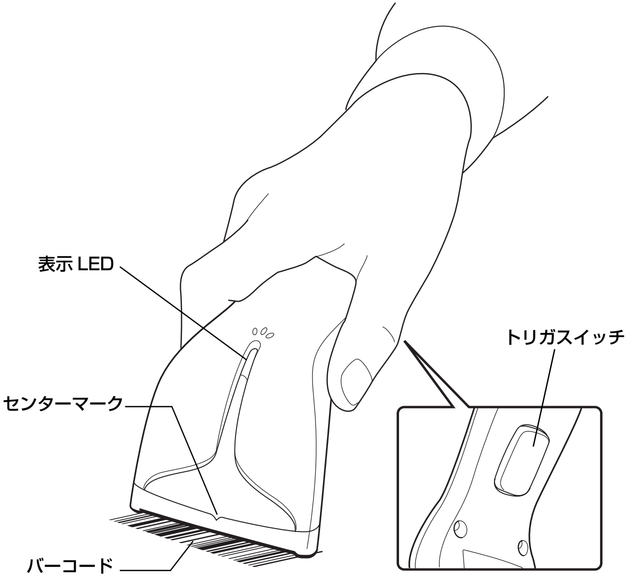
- パソコンのUSB機器の認識および取り外しには、数秒から10秒程度かかる場合があります。USB コネクタの抜き差しは 10 秒以上の間隔をあけて行ってください。
- パソコンの電源が入っている状態でも、USB コネクタの抜き差しは可能です。ただし、パソコンがスタンバイ（スリープ）中には、USB コネクタの抜き差しは行わないでください。
- 本製品の接続処理中に、他の USB 機器の抜き差しを行わないでください。
- ケーブルの延長は行わないでください。
- ハブ接続をする場合、USB では 5 段までの直列接続ができますが、実際の運用では 2 段までの直列接続でご使用になることをお勧めします。

3 読み取り方

バーコードの読み取り

1 スキャナの読み取り口上部のセンターマークとバーコードの中心を合わせます。

2 トリガスイッチを押します。



3 読み取りが正常に完了すると、表示 LED が青色に点灯し、ブザーがピィ（単音）と鳴ります。

重要

- バーコードはできるだけ平らにしてください。
- 直射日光のもとや非常に明るい場所では、読み取りできない場合があります。
- バーコードは左右逆向きにしても読み取りできます。
- ビニル袋に入っているバーコードは、読み取りできない場合があります。その場合は袋から取り出して読み取りしてください。
- バーコード読み取り中にはケーブルを抜かないでください。
- 連続読み取りモードに設定している場合に、同一のバーコードを2回以上続けて読み取るときは、約 1 秒間は本製品の読み取り口を一旦読み取ったバーコードから十分離し、表示 LED が消灯してから次のバーコードを読ませてください。
- キーボードとの同時操作は行わないでください。バーコードのデータとキーボードのデータが混在してしまい、バーコードのデータが正しく表示されなくなります。

トリガスイッチモード

■ オートオフモード

トリガスイッチを押してから約 5 秒間、読み取り口の照明光が点灯し、読み取り可能状態となります。
正常に読み取りが完了した場合、またはスイッチを押してから約 5 秒間経過した場合は、自動的に照明光が消灯し、読み取り待機状態となります。
ご購入時はこの設定になっています。

■ 連続読み取りモード

電源を入れてから照明光が点灯し、読み取り可能状態となります。トリガスイッチ機能は全て無視されます。

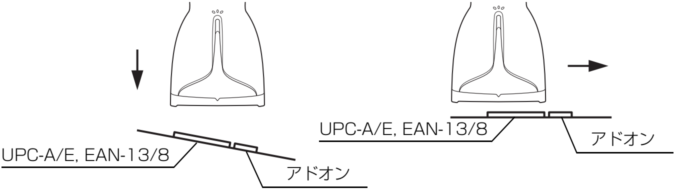
重要

- バーコードメニュー（「バーコードメニュー」••▶ P.24）によるパラメータの設定中は、トリガスイッチを押している間のみ照明光が点灯し、読み取り可能状態となります。トリガスイッチを離すと読み取り待機状態になります。

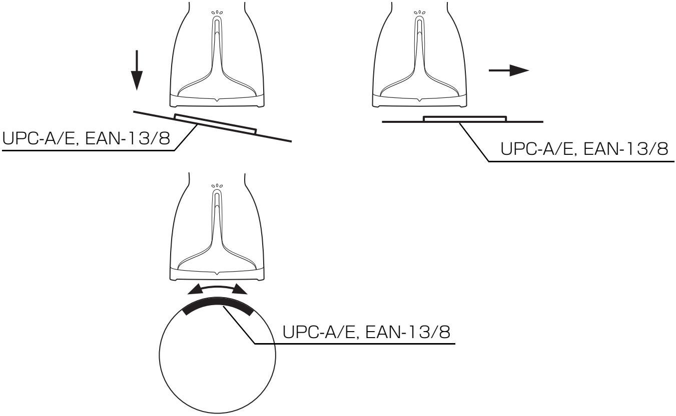
マルチ読み

読み取りコード体系の異なる 2 つ以上のコード体系を、自動判別して読み取ることを、マルチ読みといいます。

- マルチ読みされるコード体系の中に Interleaved 2 of 5 または Standard 2 of 5 が含まれる場合、誤読防止のため、読み取り最小桁数が Interleaved 2 of 5 では 4 桁、Standard 2 of 5 では 3 桁に制限されます。
- UPC/EAN アドオン付きを読み取らせる場合、UPC-A/E、EAN-13/8 と UPC/EAN アドオン付きとのマルチ読みをできるだけ避けてください。マルチ読みを行った場合、下図のようなラベルの当てかたをしたときに、アドオン部分を認識できずに通常のUPC-A/EまたはEAN-13/8と認識してしまうことがあります。



- UPC-A/E または EAN-13/8 を読み取る場合、GS1 DataBar Limited と UPC-A/E、EAN-13/8 とのマルチ読みをできるだけ避けてください。マルチ読みを行った場合、下図のようなラベルの当て方をしたときに、GS1 DataBar Limited と認識してしまうことがあります。

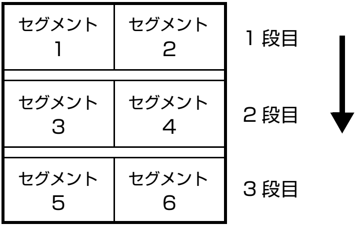


GS1 DataBar の読み取り

GS1 DataBar の読み取りとは、バーコード中のセグメントごとに読み取りデータを一度本製品に蓄積し、全セグメントの読み取りが完了した時点でデータを転送する方式をいいます。セグメントデータが蓄積されている間は、断続的にブザーが鳴ります。

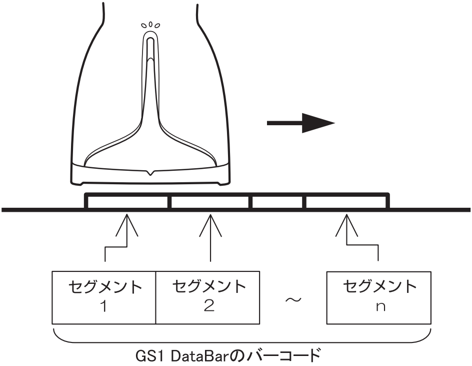
■ GS1 DataBar Stacked、GS1 DataBar Expanded Stacked の読み取りを行なう場合

読み取り口を縦にずらしながら、各段のバーコード中のセグメントごとに読み取りを行ないます。全段の全セグメントの読み取りが完了した時点でデータを転送します。



■ GS1 DataBar のバーコードが読み取り口より広い場合

読み取り口を横にずらしながら、バーコード中のセグメントごとに読み取りを行ないます。全セグメントの読み取りが完了した時点でデータを転送します。



POINT

- オートオフモードの場合、5 秒以内にすべてのデータの読み取りを完了させてください。
- GS1 DataBar Stacked、GS1 DataBar Epanded Stacked のセグメントデータが 3 段以上の場合は、2 段以上読み込んだときに断続的にブザーが鳴ります。

4 バーコードメニューによるパラメータ設定

バーコードの種類や各機能などのパラメータ設定は、バーコードメニューを読み取ることで選択できます。ご購入時の設定以外の機能で使用する場合は、バーコードメニューで設定を行ってください。
バーコードメニューによる設定方法の流れは次の通りです。

設定開始

「設定開始」バーコードを読み取ります
(「バーコードメニュー」••▶ P.24)。
ブザーが 3 回鳴ります。

↓

パラメータ設定コードの読み取り

設定したい項目のバーコードを読み取ります
(「バーコードメニュー」••▶ P.24)。
3 分以内にバーコードを読み取らないと自動的にメニュー設定をキャンセルし、設定前の状態に戻ります。
「キャンセル」バーコードを読み取った場合も設定前の状態に戻ります。

↓

設定終了

「設定終了」バーコードを読み取ります
(「バーコードメニュー」••▶ P.24)。
ブザーが 3 回鳴ります。ブザーが鳴った後、バーコードが読み取り可能になるまで 5 秒程度かかります。

「初期化」を設定すると、バーコードメニューで設定するすべての項目がご購入時の状態になります。ご購入時の状態は、バーコードメニューに＜ ＞で示しています(「バーコードメニュー」••▶ P.24)。

5 ブザー、表示 LED による状態通知

ブザーまたは表示 LED によって、本製品の状態を通知できます。

ブザー

■ ブザーによる状態通知

ブザーが鳴ることによって、本製品の状態を通知します。
バーコードメニュー（「バーコードメニュー」••▶ P.24）によっては、ブザーが鳴ることを禁止できます。

ブザー			状態	
On 時間	Off 時間	回数		
80 ミリ秒	–	1	読み取り完了	読み取りが正常に完了した場合に鳴ります。
60 ミリ秒	60 ミリ秒	連続	GS1 DataBar のセグメントデータ蓄積[注1]	GS1 DataBar のセグメントデータが蓄積されている間に、継続して鳴ります。
480 ミリ秒	480 ミリ秒	3	エラー発生	キーライクモードでチェックデジットが合わないときに鳴ります。
180 ミリ秒	180 ミリ秒	3	バーコードメニューによる設定[注2]	設定開始時および設定終了時に鳴ります。
80 ミリ秒	–	1		パラメータ設定バーコードを読み取ったときに鳴ります。
480 ミリ秒	–	1		パラメータを設定中に、次の設定バーコードを読ませない状態で 3 分経過したとき、またはキャンセルしたときに鳴ります。
180 ミリ秒	–	1		パラメータ設定エラーのときに鳴ります。

注 1：ブザーの音量は「小」になります。
注 2：バーコードメニューによってブザーが鳴ることを禁止されていても、次の場合については適用されません。
- 読み取り時の継続ブザー
- バーコードメニューによる設定時のブザー

■ ブザー音量調整

バーコードメニュー（「バーコードメニュー」••▶P.24）によって、音量を 3 段階に切り換えられます。
電源を切っても、最後に設定された状態は記憶されています。
ご購入時は音量「大」に設定されています。

表示 LED による状態通知

表示 LED の点灯パターンによって、OK の状態を通知します。

■ オートオフモード

読み取りが正常に完了したときに、約 2 秒間点灯します。

■ 連続読み取りモード

読み取りが正常に完了したときに、約 0.5 秒間点灯します。

6 インターフェース

POINT

▶ 本製品は、USB1.1 に準拠しています。

USB キーボードインターフェース

USB キーボードインターフェースは、専用のドライバを必要とせず、読み取ったデータをアプリケーションのカーソル位置に直接入力できます。

■ Caps Lock の状態

バーコードデータに英文字が含まれている場合、パソコンのキー入力モード（Caps Lock の状態）に合わせて、英大文字と英小文字を入れ替えて転送します。
ご購入時は、英大文字モード（Caps Lock on）に設定されています。

<table>
<tr><th>パソコンの設定</th><th>本製品の
設定</th><th>読み取り
データ</th><th>転送データ</th><th>パソコンの
表示</th></tr>
<tr><td rowspan="2">Caps Lock on</td><td>英大文字モード
(Caps Lock on)</td><td rowspan="4">a
B</td><td>A
b</td><td>a
B</td></tr>
<tr><td>英小文字モード
(Caps Lock off)</td><td>a
B</td><td>A
b</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Caps Lock off</td><td>英大文字モード
(Caps Lock on)</td><td>A
b</td><td>A
b</td></tr>
<tr><td>英小文字モード
(Caps Lock off)</td><td>a
B</td><td>a
B</td></tr>
</table>

■ キーボードタイプ

使用するキーボードタイプ(106 キーボード／ 101 キーボード)を設定できます。
ご購入時は 106 キーボードに設定されています。

出力モード（転送フォーマット）

出力モード（転送フォーマット）は、キーライクモードまたは専用モードから選択できます。
ご購入時はキーライクモードに設定されています。

■ キーライクモードの転送フォーマット

転送データの並びは次の通りです。

バーコードデータ	コードマーク	ターミネータ

□ バーコードデータ

バーコードデータ転送フォーマットについては、「バーコードデータ（ ••▶ P.17)」に示します。

□ コードマーク

バーコード体系を識別するための1文字コードでバーコードデータのすぐ後に付加します。
コードマークの出力（転送）が必要かどうかの設定ができます。
ご購入時は「出力する」に設定されています。

コードマーク	バーコード種別	コードマーク	バーコード種別
1	EAN-8/JAN-8 注	7	Standard 2 of 5
2	EAN-13/JAN-13 注	8	Interleaved 2 of 5
3	UPC-A 注	9	CODE93
4	UPC-E 注	A	CODE128、GS1-128(旧EAN-128)
5	CODE39	B	GS1 DataBar（旧 RSS）ファミリ
6	CODABAR （NW-7）		

注：UPC/EAN アドオン付きのコードマークは、UPC/EAN コードとそれぞれ同一です。

□ ターミネータ

改行コードを転送（付加）します。
また、転送が必要かどうかの選択ができます。
ご購入時は改行コードを「付加する」に設定されています。

■ 専用モードの転送フォーマット

転送データの並びは次の通りです。

ヘッダ	データ種別	オプション種別	転送文字数	バーコードデータ	ターミネータ

□ ヘッダ

「CTL+SHIFT+FUNCTION 12」キーのコードを転送します。

□ データ種別

バーコード種別を識別するためのコードです。

データ種別	バーコード種別	データ種別	バーコード種別
01	EAN-8/JAN-8 注	07	Standard 2 of 5
02	EAN-13/JAN-13 注	08	Interleaved 2 of 5
03	UPC-A 注	09	CODE93
04	UPC-E 注	10	CODE128、GS1-128(旧EAN-128)
05	CODE39	11	GS1 DataBar（旧 RSS）ファミリ
06	CODABAR （NW-7）	00	異常通知

注：UPC/EAN アドオン付きのコードマークは、UPC/EAN コードとそれぞれ同一です。

□ オプション種別

C/D（チェックデジット)、ターミネータの有無を通知するためのコードです。

オプション種別	C/D、ターミネータの状態
0	データ種別「00」の場合に送信
1	C/D、ターミネータなし
2	C/D あり、ターミネータなし
3	C/D なし、ターミネータあり
4	C/D、ターミネータあり

□ 転送文字数

バーコードデータ、C/D（チェックデジット)、ターミネータの総文字数を示すコードです。

転送文字数	内容
00	本コード以降に続く文字なし
01 ～ 99	本コードを含めない、バーコードデータ、C/D、ターミネータの総文字数

□ バーコードデータ

バーコードデータ転送フォーマットについては、「バーコードデータ」（ ••▶ P.17）をご覧ください。

□ ターミネータ

改行コードを転送（付加）します。
また、転送が必要かどうかの選択ができます。
ご購入時は改行コードを「付加する」に設定されています。

■ バーコードデータ

各バーコード種別の転送データの並びは次の通りです。
読み込んだバーコードデータに対して、C/D（チェックデジット）の出力を行うかどうかを設定できます。
ご購入時はチェックデジットを「出力する」に設定されています。

□ UPC-A

0	データ（11 桁）	C/D

□ UPC-E

0	データ（6 桁）	C/D

□ EAN-13

データ（12 桁）	C/D

□ EAN-8

データ（7 桁）	C/D

□ UPC/EAN アドオン付き

UPC/EAN データ	アドオンデータ（2 桁または 5 桁）

□ Standard 2 of 5, Interleaved 2 of 5

データ	C/D

バーコードには、C/D（チェックデジット）が含まれているものと含まれていないものがあります。
本製品では、バーコード読み取り時に C/D の有無を選択できます。
また、C/D ありの読み取り許可を選択した場合、その C/D の出力を行うかどうかの設定ができます。

□ CODABAR（NW-7）

スタートコード	データ	C/D	ストップコード

バーコードには、C/D（チェックデジット）が含まれているものと含まれていないものがあります。
本製品では、バーコード読み取り時に C/D の有無を選択できます。また、C/D ありの読み取り許可を選択した場合、その C/D の出力を行うかどうかを設定できます。
C/D の計算方法は、「モジュラス 16」または「7 チェック」を選択できます。
また、スタート・ストップコードの出力を選択できます。

□ CODE39

スタートコード	データ	C/D	ストップコード

バーコードには、C/D（チェックデジット）が含まれているものと含まれていないものがあります。
本製品では、バーコード読み取り時に C/D の有無を選択できます。

また、C/D ありの読み取り許可の場合、その C/D の出力を行うかどうかの設定ができます。

□ CODE93、CODE128、GS1-128（旧 EAN-128）

スタートコードの次のキャラクタから、チェックデジットの前のキャラクタまで順に転送します。

スタート･ストップコード､FNC コードおよびチェックデジットは転送されません。
ただし、CODE128 と GS1-128 では、次の場合での FNC1 は＜ GS ＞（1Dh）に変換されて転送されます。

- スタートコードの次のキャラクタが FNC1 で､キャラクタ 1 以降に FNC1 がある場合
- スタートコードの次のキャラクタが FNC1 以外で､キャラクタ 2 以降に FNC1 がある場合

チェックデジットの出力を行うかどうか設定ができます。
チェックデジットは特殊チェックデジットになっております。算出方法は以下の通りです。

全転送データの ASCII コードの総和（10 進数）を、10 で割った余りと 10 の差をチェックデジットとします。

□ GS1 DataBar Omnidirectional（旧 RSS-14）、GS1 DataBar Stacked（旧 RSS-14 Stacked）、GS1 DataBar Truncated（旧 RSS-14 Truncated）、GS1 DataBar Stacked Omnidirectional（旧 RSS-14 Stacked Omnidirectional）、GS1 DataBar Limited（旧 RSS Limited）

01	データ

□ GS1 DataBar Expanded（旧 RSS Expanded）、GS1 DataBar Expanded Stacked（旧 RSS Expanded Stacked）

データ

7 困ったときには

バーコードを正しく読み取りできない

確認事項	処置
バーコードの読み取り位置にバーコードが正しく当てられていますか。	バーコードを正しく読み取り位置に当ててください。「バーコードの読み取り」（••▶ P.8）
バーコードが汚れていませんか。	バーコードの汚れを拭き取ってください。
バーコードがかすれていませんか。	かすれていないバーコードを使用してください。

バーコードの読み取りができない

確認事項	処置
読み取るバーコードが読み取り許可に設定されていますか。	読み取るバーコードを読み取り許可に設定してください。
バーコードにチェックデジットがないのに、読み取りコードがチェックデジットありに設定されていませんか。	チェックデジットなしの読み取り許可に設定してください。
スキャンしたバーコードのチェックデジットが間違っていませんか。	正しいバーコードを使用してください。
パソコンの省電力機能が動作中ではありませんか。	省電力機能を OFF にしてください。

バーコードのデータが正しくパソコンに表示されない

確認事項	処置
パソコンのキーボードが、本装置に設定されているキーボードタイプと異なっていませんか。	パソコンと同じキーボードタイプ（コントロールパネルの「キーボード」にて確認できます）に設定してください。
キーボードのCaps Lockの状態と本製品の設定が異なっていませんか。	キーボードの状態とスキャナの設定を合わせてください。

確認事項	処置
かな漢字変換が機能しており、ローマ字かな変換されていませんか。または入力した文字列が全角文字になっていませんか。	パソコンを英数字半角入力モードに設定してください。
OS 標準のドライバ以外のドライバを使用していませんか。	OS 標準のドライバを使用してください。
キーボードと同時に操作をしていませんか。	バーコード読み取り時にはキーボードを押さないでください。

お問い合わせ先

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、ご購入元にご確認いただくか、以下それぞれのお問い合わせ先にご相談ください。

＊故障・修理に関するお問い合わせ先

[法人のお客様]

■「富士通ハードウェア修理相談センター」

- 通話料無料　0120-422-297
- お問い合わせ時間　9：00 ～ 17:00（土曜、日曜、祝日および年末年始を除く）

[個人のお客様]

■「故障や修理に関する受付窓口」

- 通話料無料　0120-926-220
- お問い合わせ時間　24 時間・365 日対応

＊技術的なご質問、ご相談のお問い合わせ先

■「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」

- 通話料無料　0120-950-222
- お問い合わせ時間　9：00 ～ 17:00（土曜、日曜、祝日を除く）

- おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- 各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- システムメンテナンスのため、お問い合わせ時間であっても受付けを休止させていただく場合があります。

8 日常のお手入れ

- 読み取り窓は、常にきれいな状態でご使用ください。
- 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
- 本装置の清掃の際には、乾いた布で拭くようにしてください。
- 水および水性の溶剤やアルコールやシンナーなどの揮発性の溶剤は使用しないでください。
- 内部保守の必要はありませんので、決して分解をしないでください。

9 本製品の廃棄

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」の規制を受けます。

法人、企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

10 仕様

項目		仕様
読み取り部	読み取りコード	JAN 標準、JAN 短縮、EAN-13、EAN-8、UPC-A、UPC-E、UPC/EAN アドオン付き、Interleaved 2 of 5、Standard 2 of 5、CODE39、CODABAR（NW-7）、CODE93、CODE128、GS1-128、GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Truncated、GS1 DataBar Stacked、GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded、GS1 DataBar Expanded Stacked
	バーコードの桁数／倍率	• NW-7：最大 41 桁（スタート／ストップコードを含む） • CODE39：最大 33 桁（スタート／ストップコードを除く） • Interleaved 2 of 5：最大 62 桁 • CODE93：最大 37 桁（スタート／ストップコードおよび 2 桁のチェックデジットを除く） • Standard 2 of 5：最大 37 桁 • CODE128、GS1-128：最大 40 桁（スタート／ストップコードおよび 1 桁のチェックデジットを除く） • GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Limited：14 桁 • GS1 DataBar Expanded：最大 10 セグメント • GS1 DataBar Expanded Stacked：最大 10 セグメント、最大 11 段 • JAN 標準、EAN-13、UPC-A：基準寸法（0.33mm）の 0.8 ～ 1.7 倍 • JAN 短縮、EAN-8、UPC-E：基準寸法（0.33mm）の 0.8 ～ 2.0 倍 • EAN-13/UPC-A 2 桁のアドオン付き：基準寸法（0.33mm）の 0.8 ～ 1.4 倍 • EAN-13/UPC-A 5 桁のアドオン付き：基準寸法（0.33mm）の 0.8 ～ 1.2 倍 • EAN-8/UPC-E 2 桁のアドオン付き：基準寸法（0.33mm）の 0.8 ～ 1.9 倍 • EAN-8/UPC-E 5 桁のアドオン付き：基準寸法（0.33mm）の 0.8 ～ 1.6 倍
	読み取り方向	バーコードの正逆いずれも読み取り可能
	最小分解能	0.125mm
	PCS 値	0.45 以上
	読み取り距離	0 ～ 10mm 注
	読み取り角度縦（仰角）	± 20° 注
	読み取り角度横（傾角）	± 3° 注

項目		仕様
	光源	LED（赤色）
	読み取り確認	表示 LED（青色）、ブザー
インターフェース		USB 1.1 （USB キーボードインターフェース）
入力電源	使用電源電圧	パソコン本体より供給（DC 5V）
	消費電流	100mA 以下
環境条件	使用温度・湿度範囲	0 ～ 40 C、10 ～ 90% RH (結露なきこと)
	使用照度範囲	10,000 lux 以下
外形寸法		W72 × D155 × H62mm
質量		約 85g（ケーブルを除く）

注：JAN 白黒 13 桁 JIS 標準ラベル使用時

11 付録

バーコードメニュー

ご購入時の状態は、バーコードメニューに＜ ＞で示しています。

■ 設定開始、設定終了、初期化、キャンセル

設定開始

設定終了

初期化

キャンセル

■ 通信パラメータの指定

- 英文字モード（Caps Lock の状態）

英小モード
Caps Lock OFF

＜英大モード＞
＜ Caps Lock ON ＞

- キーボード選択

101 キー

＜ 106 キー＞

- 出力モード

＜キーライクモード＞

専用モード

- 改行キー（ターミネータ）

付加しない

＜付加する＞

- トリガスイッチモード

＜オートオフモード＞

連続読み取りモード

- 出力バーコード種別 (読み取りコード番号) ※キーライクモード時に切替可

<出力する>　　出力しない

- チェックデジット

<出力する>　　出力しない

- 読み取り確認のブザー

<鳴らす>　　鳴らさない

- ブザー音量

<大>　　中

小

■ データ転送フォーマットの指定

□ UPC-A/-E and EAN-13/-8

- UPC-A、UPC-E、EAN-13、EAN-8 の読み取り

＜読み取る＞

読み取らない

- UPC/EAN アドオン付きの読み取り

読み取る（アドオン桁数制限なし）

＜読み取らない＞

□ Standard 2 of 5

- Standard 2 of 5 の読み取り

＜ C/D なしで読み取る＞

C/D ありで読み取る

読み取らない

□ Interleaved 2 of 5

- Interleaved 2 of 5 の読み取り

＜ C/D なしで読み取る＞

C/D ありで読み取る

読み取らない

□ CODABAR (NW-7)

- CODABAR（NW-7）の読み取り

＜ C/D なしで読み取る＞

C/D ありで読み取る

読み取らない

- CODABAR（NW-7）のチェックデジットの計算方法

モジュラス 16

＜ 7 チェック (aa,bb チェック) ＞

• CODABAR（NW-7）のスタートストップコード出力

出力する（データ部を含む）　　<出力しない（データ部のみ）>

• CODABAR（NW-7）のスタートストップチェック

<チェックする>　　チェックしない

□ CODE39

• CODE39 の読み取り

< C/D なしで読み取る>　　C/D ありで読み取る

読み取らない

• CODE39 のスタートストップコードの出力

出力する　　<出力しない>

□ CODE93

- CODE93 の読み取り

読み取る　　　　＜読み取らない＞

□ CODE128/GS1-128

- CODE128/GS1-128 の読み取り

＜読み取る＞　　　　読み取らない

□ GS1 DataBar

- GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Truncated、GS1 DataBar Stacked、GS1 DataBar Stacked Omnidirectional の読み取り

＜読み取る＞　　　　読み取らない

- GS1 DataBar Limited の読み取り

読み取る　　　　＜読み取らない＞

- GS1 DataBar Expanded、GS1 DataBar Expanded Stacked の読み取り

＜読み取る＞　　　　読み取らない

バーコードサンプルラベル

031323120786
UPC-A

4906906
UPC-E

4901567014010
EAN-13（JAN 標準）

49400397
EAN-8（JAN 短縮）

0440238 10
UPC-E 2-digit add-on

9780330290951 90000
EAN-13 5-digit add-on

0123457
Standard 2of5

0123456784
Interleaved 2of5

b-$:/0B
CODABAR (NW-7)

TESTE
CODE39

1G1AZ37
CODE93

121347
CODE128

11970
GS1-128

(01)20012345678909
GS1 DataBar Omnidirectional

(01)15012345678907
GS1 DataBar Limited

(01)98898765432106(3202)012345(15)991231
GS1 DataBar Expanded

FMV シリーズ
バーコードタッチリーダ（FMV-BCR213）
取扱説明書

B5FY-8471-01-00

発 行 日　2008 年 1 月
発行責任　富士通株式会社

Printed in Japan

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

454893-2310